

令和 2 年度第 1 回高松市創造都市推進審議会資料

令和 2 年 7 月 2 7 日

<p>提案 内容</p>	<p>議題 (1)</p>	<p>工芸：伝統工芸をアピールする拠点の創出。(例：高松市美術館の一角を無料ゾーンとして工芸作品の常設を試みるような取り組み。キュレーションは重要なので、専門の学芸員のサポートが必要)</p>
		<p>工芸：伝統工芸のアピールの方法について、他の地域との情報交換やフォーラムの開催。現在であれば、zoom などを用いた展開も可能ではないか。</p> <p>京都の事例：京都伝統産業ミュージアム https://kmtc.jp/ 開催中の展示について掲載された告知記事 https://bijutsutecho.com/magazine/news/exhibition/22288?fbclid=IwAR0U3DOLjiRgweTDZ96va0kSnaJ2frIDtnfWbBWKMazC6IqBjMaGL378jGQ</p>
		<p>交流 P-16：まちかど漫遊帖 の HP は情報量が多いがデザインを刷新しなければアクセスしても読みづらい。</p> <p>また、SNS の強化とあるが facebook のフォロワーが 366 人と大変少ない上に、「いいね」も少なく、押している方は固定のメンバーとなっている。いずれもこれから広げていくためにはデザイン面、伝え方など検討が必要。17 と 20 を個別の事業とせず、一つの扉から入れるような UI/UX を検討してもらいたい。</p>
	<p>70 もの多くの事業が展開されているが、特徴（個性）を出すに至っていない。これらの事業を「一つの高松」として顔（キャラクター）が見えるような物語を紡ぐようなグランドデザインをし直す事を検討できないか。予算の有効な活用にも繋がると考えられる。</p>	
	<p>議題 (2)</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大予防のため、対面の事業の参加人数の制限等でリスクを抑える必要があり、参加者の目標設定などを役所としてどのような計画を持っているのか？</p>